

31万人元気創り予算

本市では、皆さんに納めていただいた税金を「どんなことに使うのか」について、毎年、計画(予算)を立てています。この特集では、今年度の予算のポイントや具体的な使い道についてお伝えします。
(数字は四捨五入している部分があります)

ちゃんねる連動



今回の特集の内容は、市政情報等提供番組「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します

- 地デジ12ch (CTY)
- 5月21日(日)~31日(水)に放送
月・水・金・日曜日 9:30、20:30
火・木・土曜日 12:30、20:30

市には3種類の会計があります

一般会計

1,084億7,500万円
(前年度比-0.2%)

行政運営の基本的な経費を計上する会計(子育てや教育、防災、福祉、道路整備など)

特別会計など

824億2,120万円
(前年度比+0.8%)

一般会計とは区別して経理する会計(国民健康保険、介護保険、競輪の運営など)

企業会計

632億7,453万円
(前年度比+3.5%)

地方公営企業法に基づく公営企業を経理する会計(上下水道、市立四日市病院)

予算額(総額) 2,541億7,073万円(前年比+1.0%)

教えて! 森市長「今年度予算の重点分野は?」

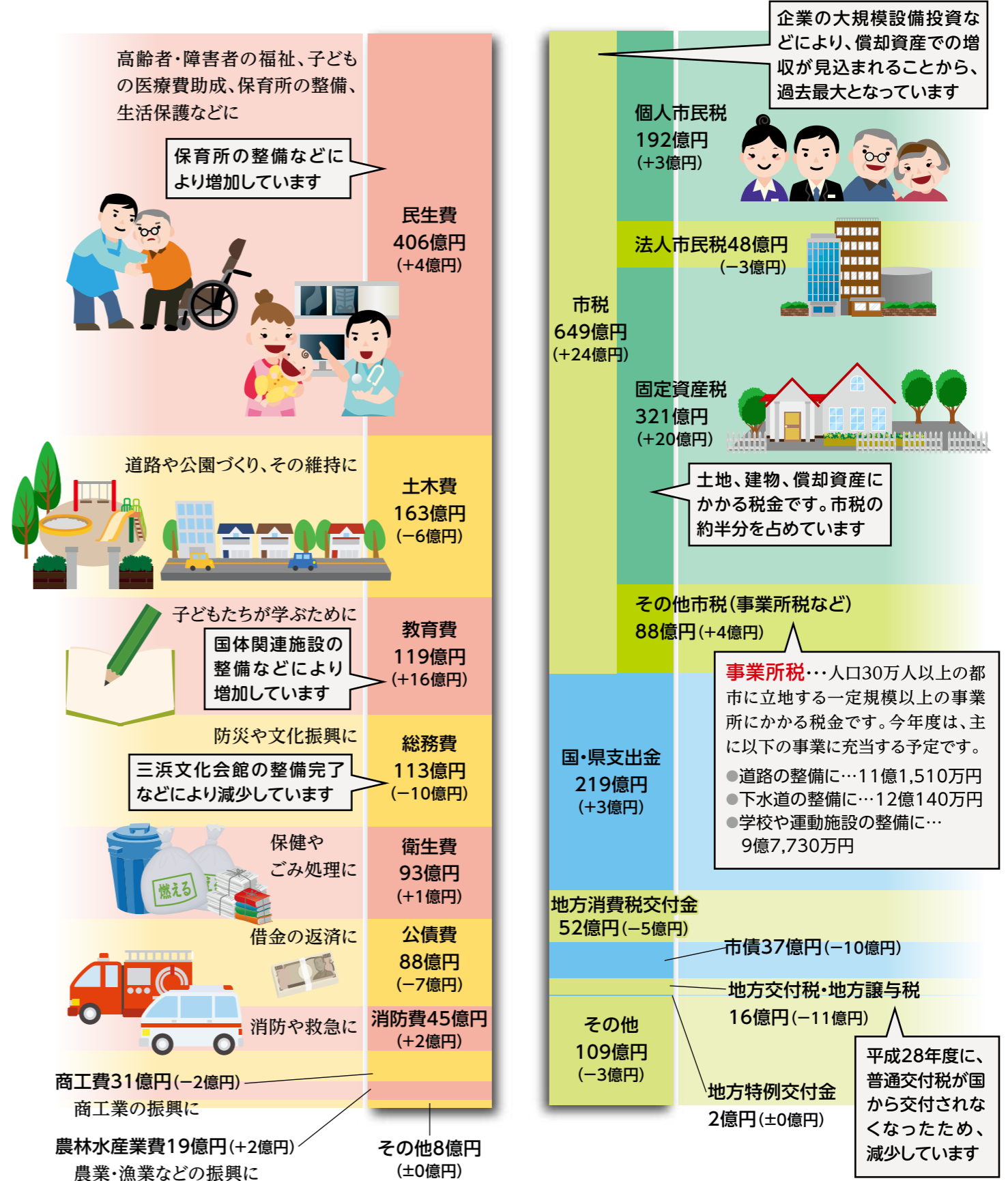
この分野に特に力を入れます!

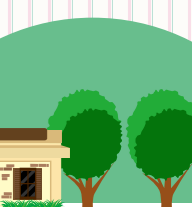
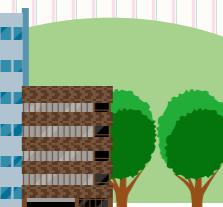
一般会計

「歳出(支出)」と「歳入(収入)」

歳出 1,084億7,500万円

歳入 1,084億7,500万円





子育て支援・教育環境の改善

安心して医療を受けていただくために

拡充 子ども医療費助成事業 9億5,480万円

子どもの病気の早期発見・療養を促進し、保護者の経済的負担を軽減するため、中学生までの医療費(通院・入院)を助成します。

また、未就学児を対象とした窓口負担の無料化について、平成30年4月から開始するための準備を進めます。



待機児童の解消を図るために

民間保育所等整備事業 4億7,310万円

民間保育所の新設や改修に要する費用を補助します。平成29年度は内部地区と常磐地区に2園の新設が予定されており、平成30年4月から210人の定員増を見込んでいます。

また、延長保育や一時保育などの特別保育サービスを拡充し、保育環境を整備します。



中学校給食の実施に向けて

新規 中学校給食基本構想・基本計画策定事業 500万円

食缶方式(*)による中学校給食を実施することにより、給食を通じた食育の取り組みを中学校まで拡大します。

今年度は、給食の実施方式、施設の整備内容や運営手法などについて検討し、基本となる構想・計画を策定する予定です。

*食缶でクラス分をまとめて教室まで運び、配膳する方式



産後早期の産婦を支援するために

新規 産婦健康診査事業 1,560万円

産後うつ予防の観点から、産後の初期段階における母子に対する支援体制を強化します。

産後2週間と1カ月の時期に、それぞれ産科医療機関による健康診査を実施することで産婦の心身の健康状態と育児負担の状況を把握し、適切な支援につなげます。



地域経済の拡大・活性化

クリーンエネルギーの活用を目指して

拡充 臨海部における水素有効活用検討事業 900万円

臨海部のコンビナートでは、水素関連の技術を有し、水素の製造を行っている事業所や、さまざまな生産品の製造過程で水素を副生する事業所が立地しています。昨年度の調査検討を踏まえ、水素関連の技術・設備を一層有効に活用する方策を検討し、コンビナートの先進化を図ります。



中小企業を支援するために

新規 地域産業支援事業費(四日市市企業OB人材センター) 960万円

企業OBの活動拠点として橋北交流会館内に開設した企業OB人材センターで、中小企業への支援などを行います。小・中学生などを対象として、ものづくりの楽しさを伝える講座も開催します。

安心・安全

皆さんの安心・安全のために

新消防分署整備事業 6億6,080万円

拡充 防災倉庫整備事業 1億5,860万円

新消防分署・拠点防災倉庫の整備後のイメージ図

消防車・救急車の現場到着時間の短縮を図るために、北部地域(中村町地内)に新消防分署を整備します。新消防分署には拠点防災倉庫を併設し、災害時に救援物資を迅速に配送するための荷さばき機能を持たせるとともに、食料や物資を備蓄します。



福祉の充実

高齢化社会に対応するために

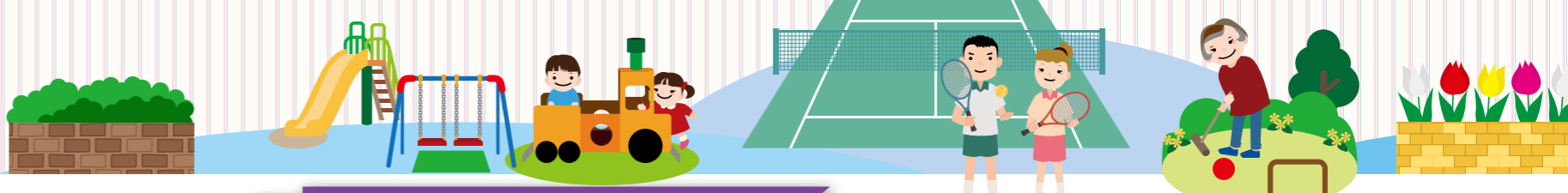
民間社会福祉施設等整備助成事業 2億4,410万円

高齢者数の増加に対応して、適正な介護保険事業の運営を図るため、施設を整備します。

<整備予定の施設>

- ・特別養護老人ホーム(定員60人)・・・2カ所
- ・地域密着型特別養護老人ホーム(定員29人)・・・1カ所
- ・小規模多機能型居宅介護事業所・・・1カ所
- ・認知症高齢者グループホーム・・・1カ所
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所・・・1カ所





ライフラインの整備

雨に強いまちづくりのために

公共下水道雨水対策事業 52億500万円

市街化区域の集中豪雨などによる浸水防除を図るため、貯留管やポンプ場などの雨水排水施設を整備します。また、施設の耐震化および長寿命化に取り組み、適切な維持管理を行います。



運動施設の整備

スポーツの振興のために

中央緑地運動施設整備事業(国体関係) 19億2,680万円

霞ヶ浦緑地運動施設整備事業(国体関係) 15億7,250万円

平成30年の高校総体(インターハイ)、平成33年の三重とわか国体の開催に向け、中央緑地と霞ヶ浦緑地の運動施設を整備していきます。規模や機能面で全国レベルの大会にも対応でき、さらに多くの方々にご利用いただける施設となる予定です。



整備後の中央緑地イメージ図
(中央が新体育館)



整備後の霞ヶ浦緑地イメージ図

- 中央緑地**
- 新サッカー場** 3面の人工芝。うち1面は陸上競技場のサブトラックにもなる。平成30年夏ごろ供用開始予定
- 新体育館** 国体の施設基準を満たす。全国レベルの大会の開催が可能。平成32年春ごろ供用開始予定
- 霞ヶ浦緑地**
- 新テニスコート** 16面のハードコート。うち8面は屋根付きの全天候型。平成30年夏ごろ供用開始予定
- 新野球場** 既存の霞ヶ浦第1・第2野球場に加えて、新たな野球場を整備。平成32年夏ごろ供用開始予定

市制施行120周年

皆さんと一緒に本市を盛り上げるために

市制施行120周年記念事業推進費 4,500万円

本市は、8月1日に120周年を迎えます。今年度を記念イヤーと位置付け、さまざまな事業を実施します。また、市民の皆さんが企画する記念イベントの経費を補助します。
市制施行120年キャッチコピー
「120年の絆、これからもずっとこの街で — 四日市。」



その他にも

新規 子育て支援アプリ配信事業 65万円

スマートフォン向けアプリを作成し、予防接種・健診などの情報が確認できる機能や、子どもの成長を記録できる機能を持たせます。



新規 ごみ減量推進事業 179万円

ごみの減量を啓発するとともに、スマートフォン向けアプリを作成し、ごみの分別や減量、収集日程などの情報を提供します。

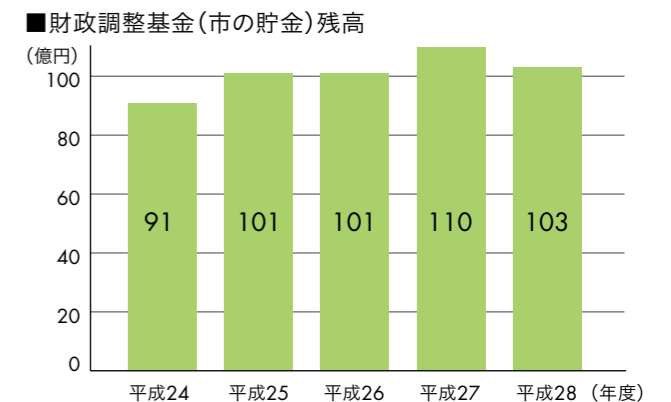
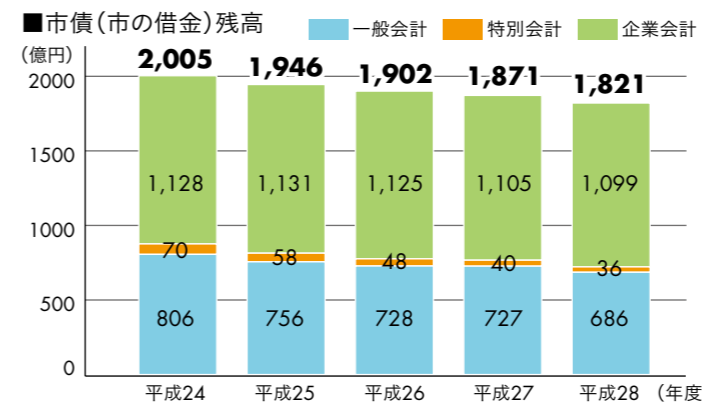
ユネスコ無形文化遺産普及促進事業 430万円

ユネスコ無形文化遺産に登録された「鳥出神社の鯨船行事」の情報を市内外に発信するとともに、担い手の確保・育成を支援します。



市の財政状況について ~健全化を進めています~

本市では、「行財政改革プラン2014」に基づき、持続可能な行財政運営を行ってきました。この結果、市債(市の借金)は着実に減少し、財政調整基金(市の貯金)も100億円以上を確保しています。



●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は

財政経営課 ☎354-8130 FAX 359-0275
広報広聴課 ☎354-8244 FAX 354-3974